

市制施行 第2回

町から市へ どう変わるのか

「平成22年国勢調査人口速報集計」で、本町の人口は50,122人となりました。これを受け、町では市制施行の準備を進めることとし、住民の皆さんに情報を提供するため、4月号から「市制施行」を連載しています。

住所表示

市になることにより、山武郡の表示が不要になり、住所の表示が簡明になります。なお、新しい市の名称は、住民の皆さんのご意見を伺いながら決めていきます。

福祉行政

福祉行政で、市と町の大きな違いは、社会福祉法によって「福祉事務所の設置」が義務付けられることです。福祉事務所が設置されると、現在、県が行っている生活保護の決定や障害児福祉手当・児童扶養手当の支給などの事務は市が直接行うこととなります。これにより住民ニーズなどを迅速かつ的確に反映することが可能となり、よりきめ細かい福祉サービスが提供できるようになります。

税などの負担

現在、皆さんが町に納めている税金には「税率が一律のもの」、「収入や不動産などの評価額に税率を乗じて税額を計算するもの」があります。いずれも町から市になることで自動的に額が変わるものはありません。ただし、市になっても町のままであっても財政事情などにより変更になることがあります。

なお、福祉事務所は、新たに施設を整備する必要はなく、福祉担当の部署に窓口を設け、社会福祉主事などの福祉専門職員を配置することで対応することができそうです。

Table with 2 columns: 区分 (区別), 項目 (項目). Rows include organizational changes like welfare office and family consultation room, and new tasks like life protection and disability benefits.

選挙制度

▼告示日 選挙が行われることを告示する日は、選挙日の少なくとも7日前までに変わります。

▼供託金 選挙に立候補する場合の供託金は、市長選挙の場合、100万円となります。また、市議会議員選挙では30万円が必要となります。

▼選挙運動用はがきの枚数 選挙運動のために使用できるはがきの枚数は、市長選挙8,000枚まで、市議会議員選挙2,000枚までです。

議会制度

▼議員定数の上限数 本町が市になった場合、地方自治法により議員定数の上限数は、現在の26人から30人に増えることとなります。実際には、議員定数は各市町村の条例で定められることとされており、現在、本町は「大網白里町議会の議員の定数を定める条例」により、議員の定数を法定上限数より少ない20人としています。

▼議決を必要とする事項 議会の議決には、条例の制定や改廃など、自治体の意思決定機関としてさまざまな議決事項があります。市になると、工事などの契約および財産の取得売買については、議決を必要とする金額の基準が変わります。

選挙制度での市と町の違い

Table comparing election systems between City and Town. Columns: 告示日, 供託金, 選挙運動に使用できるはがきの枚数, 選挙区. Rows: 告示日, 供託金, 選挙運動に使用できるはがきの枚数, 選挙区.

議会制度での市と町の違い

Table comparing council systems between City and Town. Columns: 市, 町. Rows: 議決を必要とする事項 (工事契約など, 財産の取得売買), 招集の告示日.

▼招集の告示日 議会が開会される場合、議員に対して開会日時と場所を指定して集合することを知らせる行為を「招集」といいます。招集の権限は市町村長にあり、市の場合は開会日の7日前までに招集の告示をすることが必要です。

◆今後の広報紙掲載予定

今回の6月号では、「市制施行に向けた今後の予定」についてお知らせする予定です。

問 企画政策課市制準備室

☎(70)03317

栄養士だより

ストップ 糖尿病!

肥満や食べ過ぎ、運動不足、過度なストレス、不規則な生活などから、糖尿病や糖尿病予備軍が増加しています。

こります。インスリンを効率的に働かせるためには、肥満・運動不足の解消が効果的です。

まずは適正体重を計算してみましょう。

▶適正体重=身長(メートル)×身長(メートル)×22 (例)身長160cmの場合、1.6×1.6×22=適正体重は56.3kgとなります。

食事は、過食やまとめ食いを控え、1日3食をきちんととるようにします。朝食や昼食を抜いたり、まとめ食いをしたりすると、一度にたくさんのインスリンが必要になるため膵臓に負担がかかります。まずは食べ方から見直してみましょう。

問 健康介護課健康指導班

☎(72)8321



自覚症状が現れにくいので、「何も気を付けていない」、「病院にも行ってない」、という人も多いようです。自覚症状がなくても、血糖値が高いのであれば、まずは医療機関で受診し、食事や運動指導を受けましょう。なぜなら、血糖値が高い状態を放置しておくと、数年で血行障害が起こり、血管や末梢神経が傷つくことにより動脈硬化が早く進行するためです。3大合併症として網膜症、腎症、神経障害が起こり、失明、人工透析、壊疽などが心配されます。

日本人に多いⅡ型糖尿病は、膵臓から出るホルモン、インスリンの働きが低下して起

保健師だより

年に1回はがん検診を受けて自分の健康は自分で守りましょう!

集団がん検診の申し込みを5月13日(金)まで受け付けています。がんは早期に発見されれば、治る確率も高く、軽い治療で済むことも多くなっています。がんを早期に発見するには、定期的な検診がとても大切です。

今回は、がんの症状を紹介いたします。もし、気になる症状があれば、検診を待たずに医療機関で受診してください。

◇胃がん(検診対象:40歳以上の男女)

胃がんの主な症状は、胃が重い、不快感がある、胃が痛い、胸やけがする、食欲がないなどですが、早期の段階では症状がない方が多く、中には進行しても症状がない方もいます。

◇乳がん(検診対象:30歳以上の女性)

乳がんの発症年齢は50歳代がピークですが、30歳代から増え始めます。症状は、乳房のしこりです。乳がんは、自分で触れてチェックできる唯一のがんです。がんが皮膚の近くまで達すると、皮膚がひきつれたり、えくぼのようなくぼみが見られることがあります。乳首からの異常分泌物にも注意が必要です。

◇子宮がん(検診対象:20歳以上の女性)

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんの2種類があります。子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスというウイルスの感染が主な原因です。初期症状はほとんどなく、進行に伴い不正出血、異常なおりものなど見られます。子宮体がんの症状は、不正出血、特に閉経後に少量の出血が長く続く場合は注意が必要です。

◇大腸がん(検診対象:40歳以上の男女)

大腸がんは排便に関する症状が多く、最もよく見られるのが血便です。便秘と下痢を繰り返す、残便感、便が細くなる、お腹が張る、腹痛などの症状がありますが、がんの発生場所により症状が出ていく場合があります。

◇前立腺がん(検診対象:55歳以上80歳以下の男性)

前立腺がんの進行は非常に遅いのですが、進行すると骨に転

移することがあります。症状は、尿の出が悪くなる、頻尿、残尿感など、排尿に関する症状がありますが、初期にはほとんど症状が見られません。

◇肺がん(検診対象:40歳以上の男女)

肺がんの一番の危険因子は喫煙です。たばこを吸い始めてからの年数が長いほど、1日に吸う本数が多いほど肺がんになりやすいことが分かっています。治りにくいせき、血痰、胸痛、息切れ、呼吸困難などの症状が見られます。

ただし、これらは進行してからよく見られる症状で、初期の肺がんでは、ほとんど自覚症状は見られません。

(がんにならない生活習慣10か条)

- ①禁煙する ②飲酒は適量を守る ③減塩する ④熱いものは冷ましてから飲む・食べる ⑤身体を積極的に動かす ⑥野菜・果物をたっぷり取る ⑦腹八分目で肥満を防ぐ ⑧動物性脂肪は控えめに ⑨ストレスをためない ⑩十分な睡眠をとる

(町の集団がん検診の申し込みは5月13日(金)まで)

胃がん・乳がん・子宮がん検診は事前に申し込みが必要です。そのほかのがん検診は6月から開催予定の特定健診会場で申し込みください。申し込み方法、開催日程等の詳細は、町保健事業ガイドをご覧ください。

問 健康介護課健康指導班

☎(72)8321